

世界一大きな絵 2024 への参加について

教育部総務課

「世界一大きな絵」とは、世界中の子供たちが描いた絵（5m×5m）を繋ぎ合わせ、一枚の「世界一大きな絵」を作ることを目的としたプロジェクトです。

本市が目指すSDGsに基づく共生社会の実現に向かって、その担い手となる子供たちが国際的な視野を持って主体的、協働的に活動できるよう本プロジェクトへ参加することとしました。群馬県内では初の参加となります。

1 趣旨・概要

「世界一大きな絵」プロジェクトは、NPO法人アース・アイデンティティ・プロジェクトが実施しています。同プロジェクトは世界の子供たちが国や宗教・人種を超えて真の平和を愛する気持ちを育むと共に、世界的な視野を育み、この美しい地球の平和と環境を守る機運を世界中に広げようと1996年にバングラデシュで始まり、日本はもとより世界中の各地で活動を続けています。

完成した絵はパリオリンピックが開催される2024年にフランスにて披露される予定です。

2 制作等

四ツ葉学園中等教育学校の生徒会、美術部が主体となって市内の子供たちに広く参加を呼びかけ、共同制作を行います。

具体的なスケジュールは、決定次第公表します。

3 その他

「世界一大きな絵」を描くための布（天竺木綿：白）は同NPO法人から提供されます。同NPO法人代表理事 河原裕子氏から、布に込められた想いや趣旨を直接子供たちに伝えてもらう予定です。

※NPO法人の目的及び代表理事 河原裕子氏のプロフィールは別紙参照。

別紙

■NPO 法人アース・アイデンティティ・プロジェクト

広く一般市民を対象として、文化交流による平和推進事業、世界各地の青少年の絵を繋げて世界一大きな絵を制作する事業、高齢者・障害者問題の解決に貢献するための事業、また、地球環境保全に貢献するための事業、開発途上にある海外の地域に対する経済向上をさせるための仕組み等の開発や、セミナー・シンポジウムの開催等による知識の普及・啓発事業等を行い、福祉の向上や意識の向上を図ることで、人々の幸せと平和の確立に寄与することを目的としている。

特定非営利活動法人アース・アイデンティティ・プロジェクト

〒144-0031 東京都大田区東蒲田 1-21-14 ラビコート 1F/3F

TEL : 03-6715-7888 FAX : 03-6715-7877

URL : www.bpw2024.com

■代表理事 河原裕子氏プロフィール

- 1991年 任意団体「雲母の海 (KIRARA NO KAI)」を設立
- 1992年 「雲母の海」が Bangladesh 人民共和国総理府 NGO 局に外国 NGO として認可される
- 同年 Bangladesh の最貧地区において「Bangladesh・クリグラム県の貧困な人々の生活と、人間的尊厳向上のための開発計画」に着手、女性の自立支援のためのプロジェクトを開始
- 1996年 自立支援をした女性の子供たち総勢 13,000 人に 1m×10m の布 1,000 枚に絵を描いてもらい、子供たちの母親 1,000 人で縫い合わせ、100m 四方の絵を完成させる
- 1999年 名称を NPO 法人アース・アイデンティティ・プロジェクトに改称し、日本国内、海外を精力的に回り「世界一大きな絵プロジェクト」を本格的に開始
- 2010年 在日各国大使館へ働きかけ、「世界一大きな絵大使館版」「在日大使館の御協力による海外の子ども達への取り組み」をスタート
- 日本国内でも「世界一大きな絵 2012 都道府県版」等を進め現在に至る